



I 第8週の発生動向 (2026/2/16~2026/2/22)

- 1. インフルエンザについては、三戸+八戸市保健所管内及び上北保健所管内で警報が継続しています。また、東津軽+青森市保健所管内、中南保健所管内、西北保健所管内及び下北保健所管内で注意報が継続しています。
2. 水痘については、中南保健所管内及び西北保健所管内の定点当たり報告数が新たに注意報レベルとなりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「百日咳」です。最終ページに掲載しています。

II 第8週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

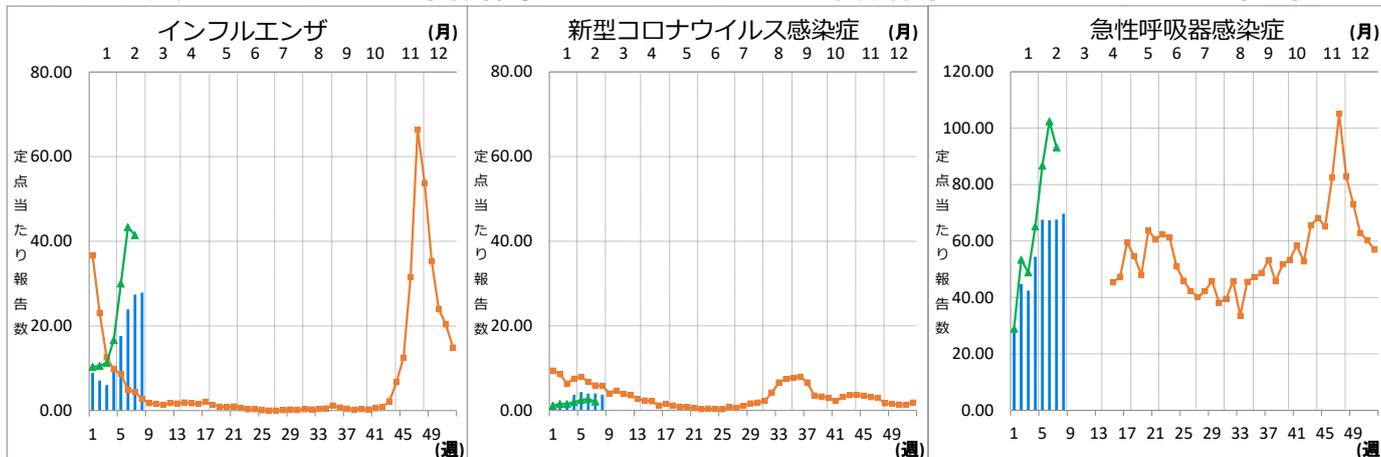
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

Table with columns for regions (東青, 中南, 三八, 西北, 上北, 下北, 青森県計) and diseases (インフルエンザ, 新型コロナウイルス感染症, etc.).

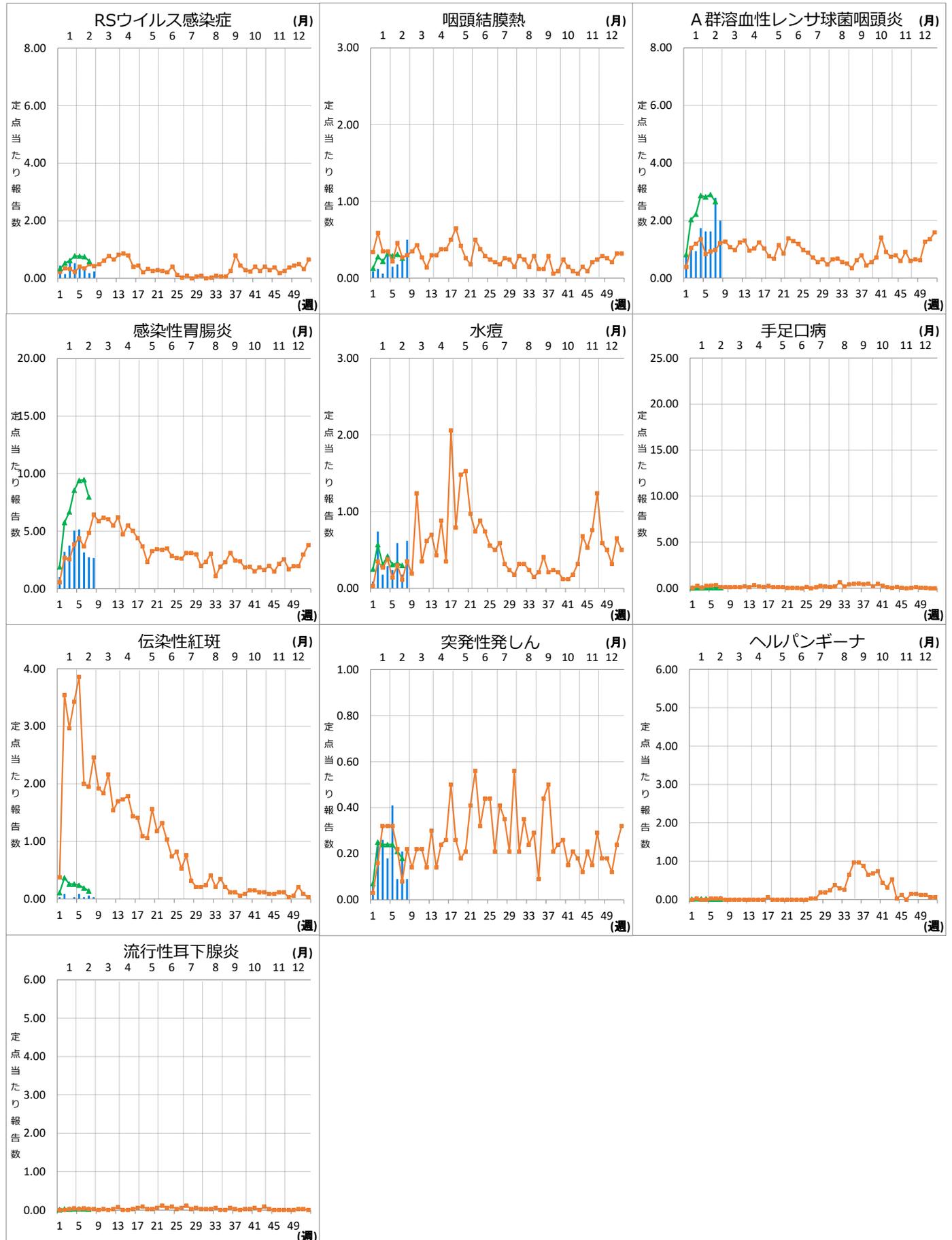
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第8週、ただし全国は前週)

グラフの説明 青森県は2026年青森県、青森県は2025年青森県、全国は2026年全国



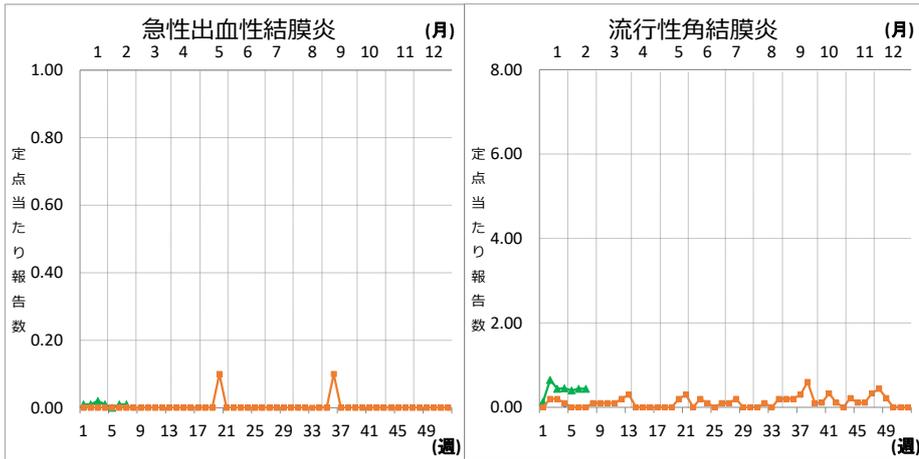
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第8週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



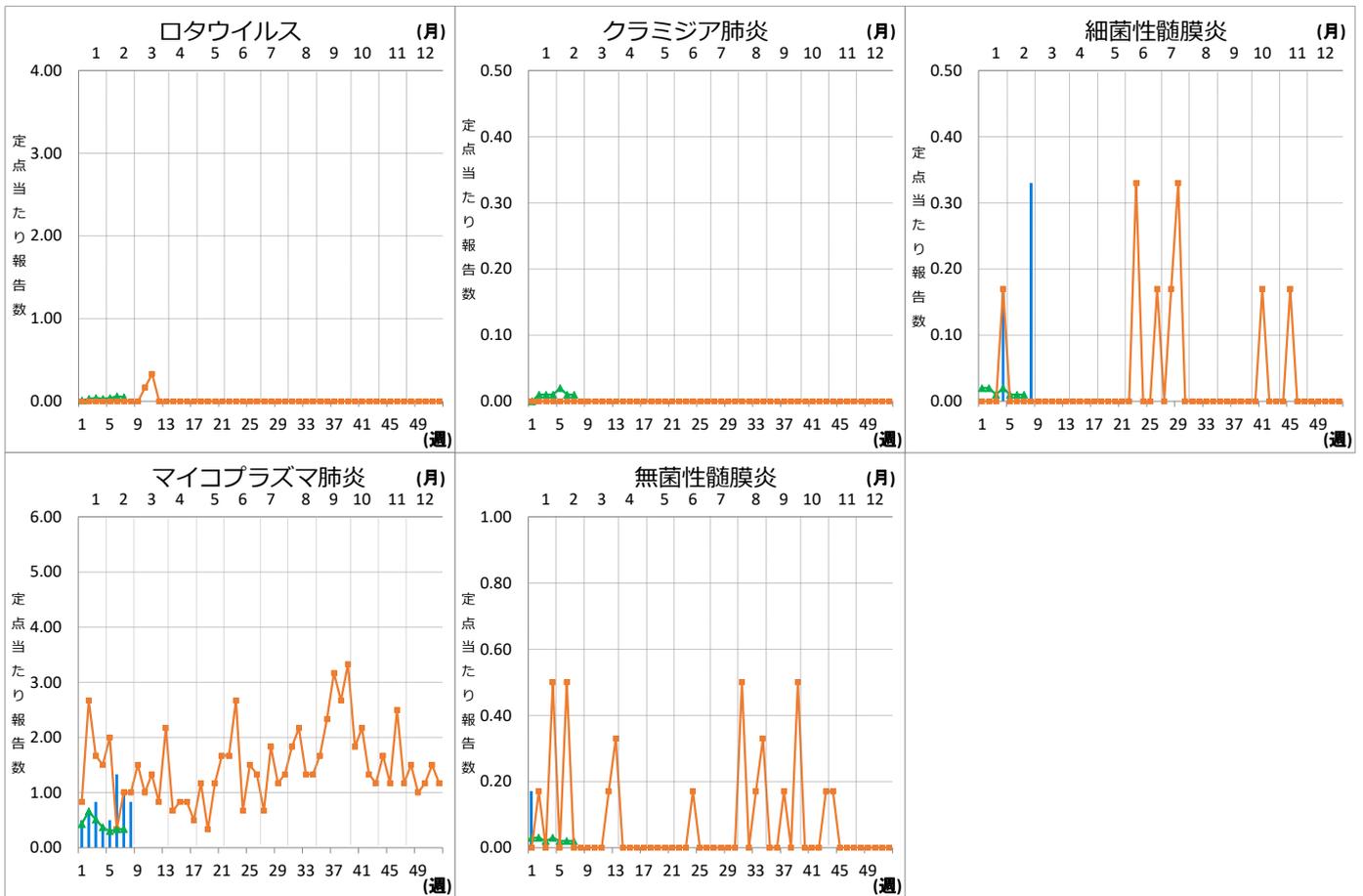
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第8週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第8週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



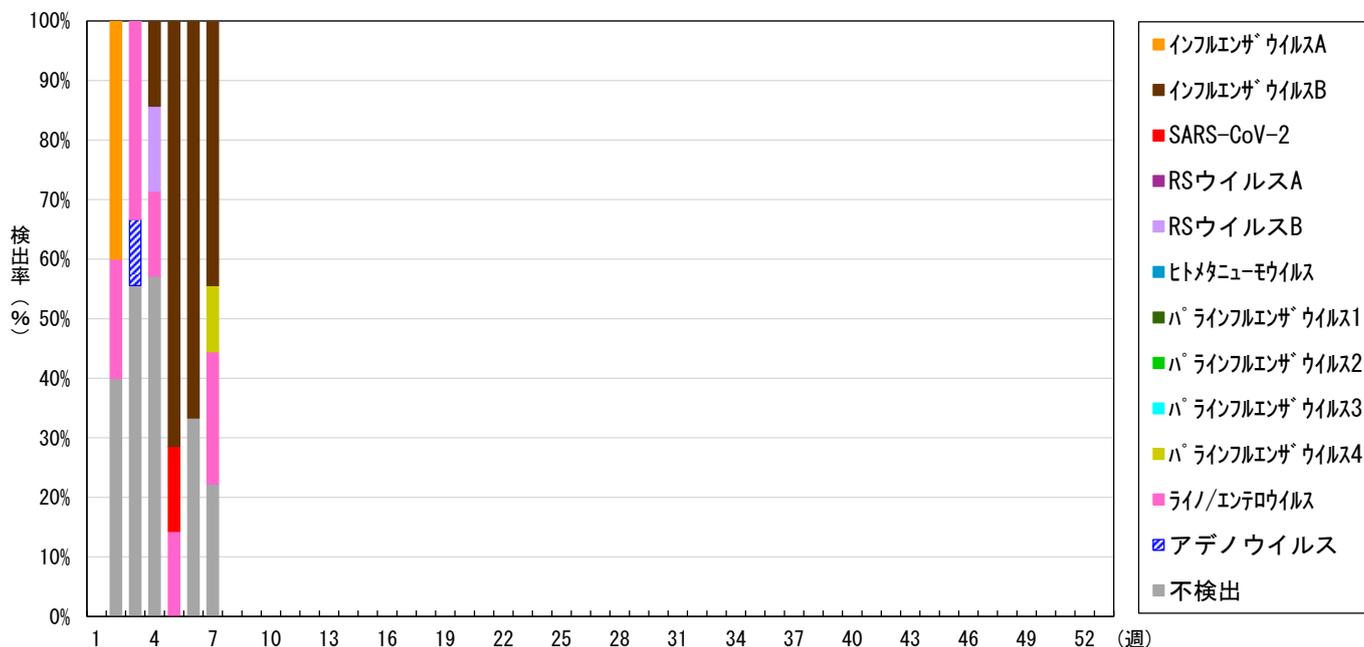
Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026年第1週～8週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週
提出検体数	0	5	9	7	7	6	8	7
インフルエンザウイルスA	0	2	0	0	0	0	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	1	5	4	4	
SARS-CoV-2	0	0	0	0	1	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	1	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	1	
ライノ/エンテロウイルス	0	1	3	1	1	0	2	
アデノウイルス	0	0	1	0	0	0	0	
不検出	0	2	5	4	0	2	2	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第7週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス4及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026年第1週～7週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第8週）

・百日咳(五類感染症)：八戸市1人

(2026年計： 7人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026年第5週～2026年第8週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
5	百日咳1人	結核1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	百日咳1人		結核1人	百日咳1人
6	侵襲性肺炎球菌感染症1人		結核2人 百日咳1人			
7	梅毒1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 侵襲性インフルエンザ菌感染症1人	後天性免疫不全症候群1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
8			百日咳1人			

第7週に青森市保健所管内で百日咳1人、八戸市保健所管内で後天性免疫不全症候群1人の届出がありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第7週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	1635	9	225	4	4	95	15	1	16	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	3	30	13	3	3	235	2	56	23	130
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	6	63	3	17	221	109	5	69	9	433
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	97	1286	22	13	10	1422	1	43	5	

青森県（2026年第1週～第8週までの累計）

分類	二類	三類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	百日咳
累積報告数	11	3	2	1	2	4	5	1	7

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第8週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第8週	介護・老人福祉関係施設	18	青森市保健所

2026年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6週	7週	8週	9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週		
介護・老人福祉関係施設	件数	2	1	0	1													4
	発症者数	37	26	0	18													
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	0	0													4
	発症者数	92	0	0	0													
障がい関係施設	件数	1	0	0	0													1
	発症者数	20	0	0	0													
その他施設	件数	0	0	0	0													0
	発症者数	0	0	0	0													
計(月別)	件数	7		2														9
	発症者数	149		44														

感染症の窓

百日咳は、百日咳菌の感染によって引き起こされる、特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする急性呼吸器感染症です。世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でなく、乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児（特に新生児や乳児期早期）では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに死に至ることもあるので注意が必要です。

百日咳が五類全数把握疾患に位置付けられた2018年以降の報告数の推移は図のとおりです。青森県における2025年の報告数（速報値）は768人で、過去最多となりました。年齢群別では10～19歳が440人で最も多く、全体の57%、次いで0～9歳が206人（うち0歳が20人）で全体の27%でした。県内の報告数は、2025年第30週以降減少傾向にあります。2026年は第7週現在、5人の報告がありますので、今後も注意が必要です。

百日咳の主な感染経路は飛沫感染と接触感染であり、予防には、生後2か月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチン等の接種が有効です。接種対象者の保護者の方は、かかりつけ医に相談の上、ワクチン接種の検討をお願いします。また、接種後年数が経過した人等で感染の拡大が見られますので、マスクの着用、手洗い・手指消毒、咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

百日咳

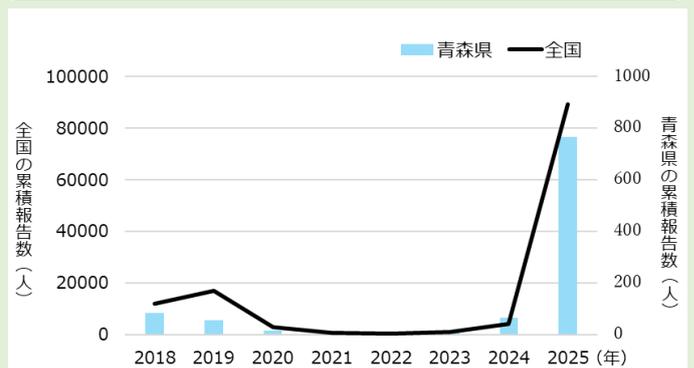


図 全国及び青森県における報告数の推移 (2025年は速報値)

○詳しい情報はこちらをご覧ください。👉 [百日咳\(厚生労働省 HP\)](#)

